

～地域に誇りをもって住み続けられるまちづくり～

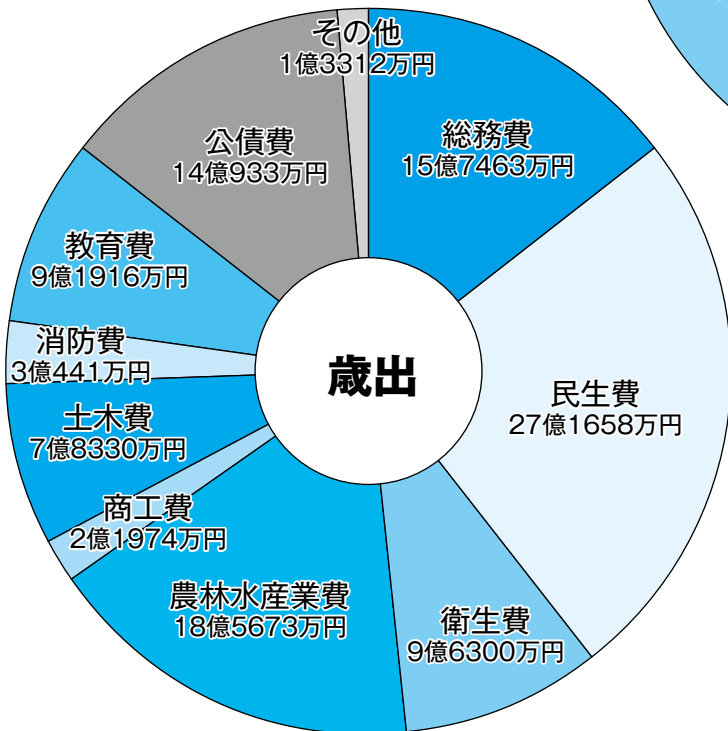
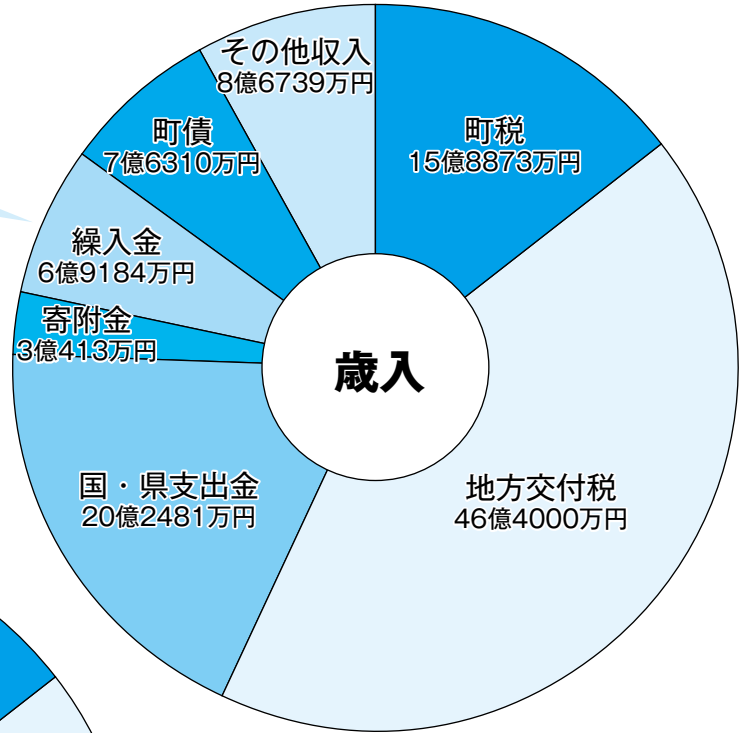
令和2年度  
一般会計当初予算 総額

108億8千万円

- 令和2年度の当初予算が3月定例議会で可決されました。まちづくりの基本となる一般会計の予算額は、昨年度から9億2千万円増の108億8千万円となりました。
- 令和2年度は、次の6つを重点事業として定め、誰もが地域に誇りをもって住み続けられるまちづくりを進めていきます。
- ① まちの強みや魅力を活かした人口減少対策
  - ② 交流人口の増加に向けた取組み
  - ③ 地域振興と住みやすさの向上
  - ④ 地域力の向上による防災・教育・福祉の充実
  - ⑤ 広報・情報発信力の強化
  - ⑥ ICT・AIを活用した事業の効率化

(歳入の特徴)

- ・普通交付税の合併算定替え措置がなくなる年度となります。
- ・ふるさと納税が好調で、寄附金が増える見込みです。
- ・町債は、元金返済額以下に抑え、町債残高の抑制に努めています。



(歳出の特徴)

- ・民生費が、保育所管理経費の増などにより、前年度比約1億4千万円の増となっています。
- ・衛生費が、中山清掃センター解体事業などにより前年度比約2億6千万円の増となっています。
- ・農林水産業費が、畜産クラスター事業などにより前年度比約5億円の増となっています。